


会社サルベージ

技術顧問の依頼が



岡にあがったカッパの人生

- ▶ エンジンルームの当直士官が機械屋に転身
- ▶ 機械メーカーには強力な競争相手が
- ▶ NC制御黎明期
- ▶ 研究所設立
- ▶ 米国駐在
- ▶ バブル崩壊と帰国
- ▶ 米国企業日本法人
- ▶ 厚生労働省外殻団体
- ▶ 財閥系企業技術顧問が

FSW(Friction stir welding)に誘われて

- ▶ 機械メーカー時代に知り合った弁護士との関係
- ▶ 新川崎の歴史あるダイカストメーカーからの技術顧問就任依頼
- ▶ 栃木県小山市移転時期に重なり、単身赴任（技術参与）
- ▶ 月産1,000トンのアルミ素材消費
- ▶ 移転に伴い稼働率低下、納期遅れによる、トラックメーカー購買常駐 3/12
- ▶ Non stop operation 発令 稼働率回復3か月
- ▶ 参与から筆頭取締役工場長へ 財務諸表チェック
- ▶ 60億円債務超過発覚・・・・・・再生へ舵切
- ▶ 工場製造コスト 販売価格の98%

アルミダイカスト工場



工場再生に向けて 稼働率向上策

- ▶ 川崎、小山の地下水温度差 10°C
- ▶ オフコン機能制限解除：川崎本社と小山工場ネット回線
- ▶ 生産技術と現場ワーカーとのPJチーム設定：機械停止要因の解明
- ▶ Non stop operation によるPJチーム報告を受け、対策指示
- ▶ 毎朝6時の工場巡検：直接問題点事前察知
- ▶ 金型内冷却水路内温度センサー複数設置

工場再生に向けて

工場経費削減

- ▶ 川崎時代の工場原価(製品売価に対し) 98% 低減対策
過去3年間の工場全部門の経費洗い出し
部門毎の3年間平均経費 $\times 0.7$ を各部門長に配布、1年間の予算とした
10%を工場長管理とし、緊急時使用、部門長に通達
- ▶ 従業員全員に対する会社の現状説明
工場従業員300名の減員無し

負債60億円の除去 企業再生機構活用

- 民事再生法適用申請前に小山事業所責任者としてアルミインゴット供給事業者説明行脚
全国6社全てに購買部長伴い従来と同じ条件での原材料供給依頼
- 納入先トラックメーカーに対しては営業を通じての代金支払い現金依頼(経営トップ)
大型トラックエンジンボディ納入ストップを予防する為、理解され協力を得た
- 企業再生機構からの再生に向けての負債免除必要とのお墨付き受領(経営トップ)
利息支払いで利益の殆どがなくなる
- 工場生産原価低減目的の予算制度履行厳格化
配布先部門長の評価につなげた
- 工場現場での環境整備
現場での喫煙禁止、休憩室での喫煙禁止、事務所内での喫煙禁止
- 事務所での不必要な残業低減
工場長出社6時：帰宅5時 部長以下管理職定時帰宅促進一作業効率向上

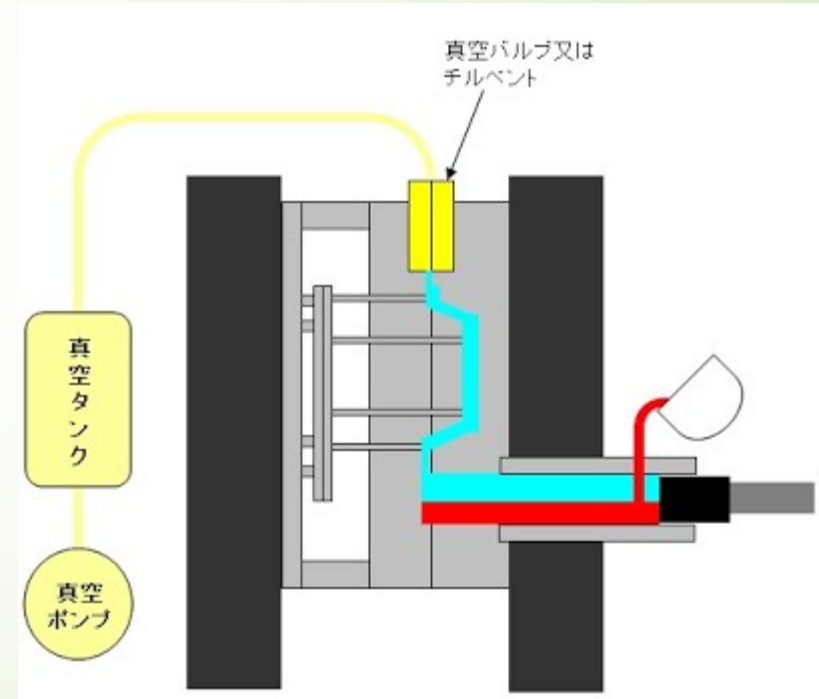
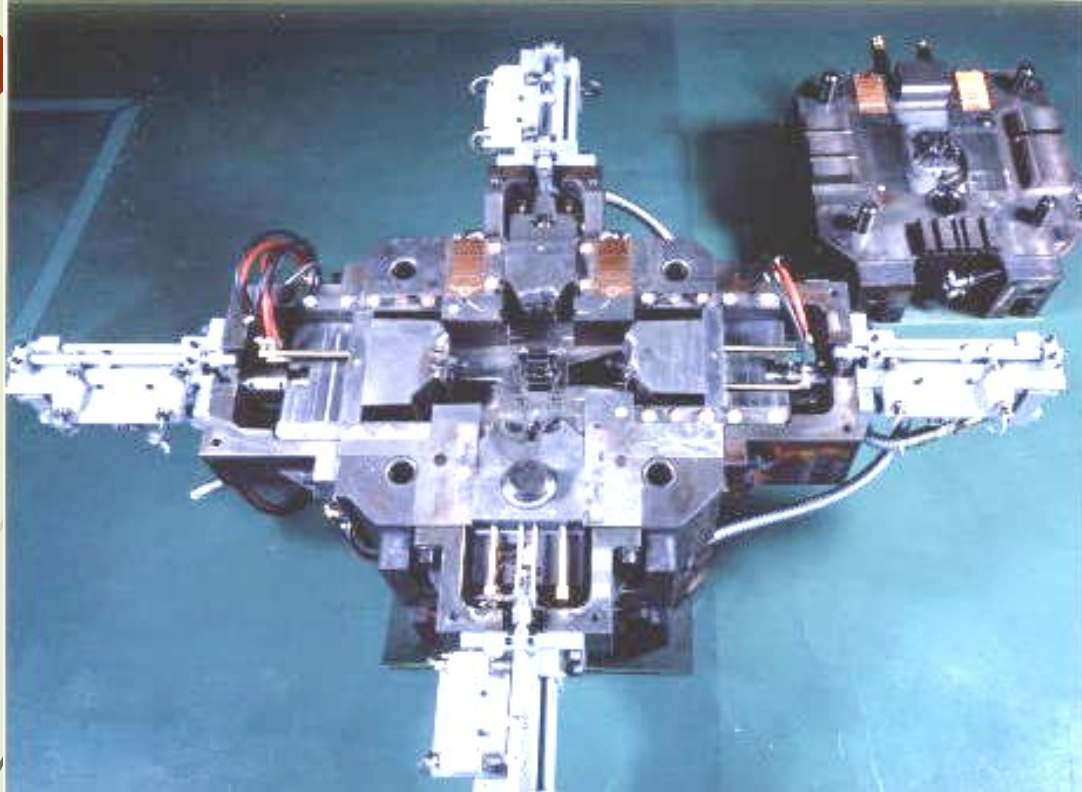
アルミニウムインゴット



銀行支援（回転資金借り入れ）“〇”

- ▶ 60億円の負債を棒引きし、0とした結果、銀行からの援助、借入等は一切無し
- ▶ ダイカスト製品の売り上げによる利益で1年間運営
- ▶ 実情を全て全社員に報告、日々の努力の成果の実感
- ▶ 工場内設備定期巡回と定常運転時の各パラメータ記録による異常予見の徹底
機関室当直の経験を生かして
- ▶ 小型トラックエンジンボディ鋳造バリ取自動化（ロボットによる）
人力によるサンダー掛け廃止
- ▶ 大型液晶テレビバックプレート歪取機械化
定盤と人手での歪取廃止

ダイキャスト金型





再生開始 1年で経常黒

再生ファンド引き継ぎ



有難うございました